

上水道事業会計決算

市が行っている上水道事業は、民間の企業と同じように独立採算制によって運営しています。

ここでは、平成 23 年度の上水道事業会計の決算が、市議会 9 月定例会で認定されましたので、概要をお知らせします。

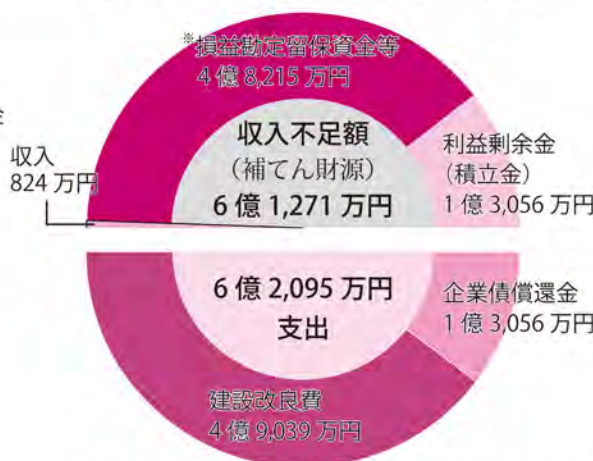
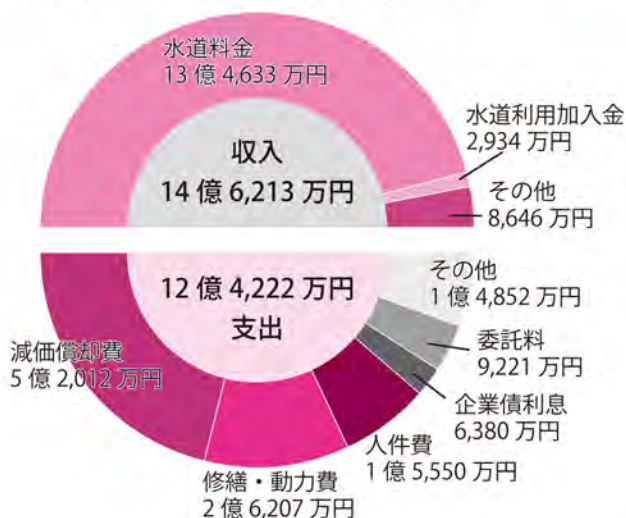
水道業務課
☎(82)4602



平成 23 年度上水道事業会計決算の内訳 (消費税込み)

(事業の管理・運営に関する収入支出)

(施設の建設・改良などに関する収入支出)



※損益勘定留保資金とは、収益的支出で現金支出を伴わない費用 (減価償却費等) です。

給水人口や総配水量などの推移

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
給水人口 (人)	85,680	85,526	85,646
給水戸数 (戸)	34,184	34,437	34,675
総配水量 (m ³)	12,499,553	12,499,972	12,218,102
総有収水量 (m ³)	10,294,065	10,378,729	10,141,398
有収率 (%)	82.7	83.0	83.0
給水原価 (円/m ³)	112.2	111.1	110.8
供給単価 (円/m ³)	129.5	126.9	126.4

※有収率は、総配水量に対する総有収水量 (実際に使用した水量) の割合で、比率は高いほど良い。

※人口は、各年度の 3 月 31 日現在の数値で算出しました。



管路整備は、市内全域にわたり、配水管布設及び布設替工事を延長 3、599.7 ㍓実施しました。

このほか、夏刈第 2 水源さく井及び取水設備等新設工事、東山第 7 水源取水設備新設工事、発電機、配電盤更新、取水ポンプ入替等を行いました。

建設改良事業の概要

水道料金は、平成 22 年 1 月検針分から実施していた 8% 割引に 2% を加え、平成 24 年 3 月検針分から 10% 割引を実施しています。

平成 23 年度は安定的な給水確保のため、設備の新設や更新を行い、施設機能の充実と向上に努めました。給水人口は増加し、総有収水量は減少してはいますが、経営成績や財政状況は健全性、安定性が維持されています。

平成 23 年度の業務状況